

国際ロータリー 第2660地区 2015-2016年度

ガバナー月信 9月号

ガバナー 立野 純三



変革を!ロータリーを通じて奉仕(プレゼント)を!



Contents

- | | |
|--|-----------------------|
| 1 ガバナーメッセージ
(基本的教育と識字率向上月間/
ロータリーの友月間) | 9 米山奨学研修会 報告 |
| 2 ガバナーインタビュー | 10 コーディネーターニュース |
| 4 意義ある業績賞について | 13 ロータリーの友便り |
| 5 広報委員長会議 報告 | 14 2015年7月度 会員数・出席 報告 |
| 6 第1回地区献血活動 報告 | 15 文庫通信 |
| 8 米山意見交換プログラム 報告 | 16 敬弔/お知らせ |



ガバナーメッセージ 基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間

国際ロータリー
第2660地区 ガバナー

立野 純三
(大阪RC)



改めて「ロータリーの友」7月号を読んでみて、非常に内容の濃い記事が多い事に感心しました。

まず、ラビンドランRI会長のPay IT Forwardの考え方に心を打たれました。

「私たちは皆多くの人々のお蔭で今の自分があるのです。ロータリーの活動に一生懸命なのは、自分が大勢の人に助けられてきたという思いがあるからです。恩返しにのチャンスに恵まれない人もいます。恩返しする唯一の方法は、誰かを助けることです。」とおっしゃっています。

また「今の私を形づくったのはロータリーであり、今、ロータリーにしていることは、ロータリーが私のためにしてくれたことの1%にすぎない」とも言われています。

私自身にも、今年一年このような大きなチャンスを与えてもらったのかもしれない。

ラビンドランRI会長の考え方には到底近づくことは出来ませんが、せめてこの与えられたチャンスを精一杯いかして、ロータリー活動に明け暮れて、ガバナーの任期を終えた時、何かを得ることができれば幸せだと思っております。

私が、以前ボランティア団体のセーブ・ザ・チルドレンで活動をしておりました時、ベトナムで恵まれない子供達の栄養改善と識字率の向上プロジェクトに参加したのですが、多くの子供達が日本の子供達と違い一家の働き手として必要とされておりましたので、学校に行くことが出来ないのです。

まず最初に取り組まなければならないのは、一家の生活の改善です。子供が学校に行ける生活環境を整備するために、援助をする必要があります。そして、次の段階として学校の建設、先生の確保、教科書や文具を揃える等の十分な準備をすることにより、子供達は学校に行けるようになります。

現地にスタッフが常駐し、常にサポートをすることによって生活環境が元に戻ることなく、定着するまで継続的に援助をすることも大切です。

世界では、学校教育を受けられない子供達が6,700万人、読み書きが出来ない15歳以上の人が7億7,500万人以上います。奉仕(プレゼント)は、一過性ではなく継続的に行う必要があると思います。

奉仕の源泉であるロータリー財団へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。



インタビュー 立野純三ガバナーに聞く

第2660地区のガバナー（2015—16）である立野純三さんは、建築の世界では欠かすことのできない商品を展開している株式会社ユニオンの社長として経営手腕を発揮しておられます。ロータリーだけでなく大阪JC（大阪青年会議所）など若かりし頃から団体活動にも熱心に取り組み、経営者として社会に奉仕する模範を我々に示してられました。

そんな立野ガバナーに、企業経営や社会貢献に対する思いを中心にインタビューしました（聞き手・佐野吉彦）。

【佐野】

立野ガバナーは、ラビンドランRI会長の方針に基づいて第2660地区の方針を立てられました。

【立野】

地区のピークは1996年ころで、メンバー数は5700人を超えていたのですが、この20年で2000人以上減って3600人ほどになっています。一方で委員会はその頃と同じように活動しているため毎年赤字を出しているわけですが、いち経営者として考えると、このことは不思議に思う。各委員会の事業が今の情勢に合っているかを見極め、まずは単年度黒字を実現したい。また8組あるIMも数のバランスが悪くなっているの、体制の見直しも考えています。全てがすぐ変わる事はありませんが、少なくともそのきっかけは作りたいと思っています。

【佐野】

変革へのきっかけをつくる1年になると。

【立野】

内容そのものが悪いとは思いますが、事業に対するPRがうまく機能していないとは強く感じています。ロータリーがポリオ対策に長年取り組み、あと少しで撲滅というところまで来ていることなど、一般の方はほとんどご存じないでしょう。社会的イメージを高めるために、何ができるかを考えなくては。それと組織の活性化のためには若手の存在が重要で、若い方が入りたいと思える魅力づくりも課題です。



【佐野】

今回はガバナーとしてだけでなく企業人、そして人間・立野純三にも切り込みたいと思っています。そこでまず経営者としてのモットーからお聞きしたいのですが。

【立野】

二番煎じはしない、他社がやっていないことに取り組みうという信念は通してきたつもりです。たとえばユニオン（の看板商品）といえばドアハンドルなのですが、僕は全く新しいジャンルとしてクロセットドアの販売に取り組みました。私が入社した当時既にドアハンドルでは実績のあった当社ですが、クロセットドアは全く未開の地。失敗もありましたが、それを乗り越えたことが自信につながった。成功体験がないから、先入観をもつことなく挑戦できたのかもしれない。一方でドアハンドルを売ることには慣れていた社員にとってはつらい経験だったと思いますが、挫折を乗り越えた人は素晴らしいセールスマンになりましたね。いずれにせよクロセットドアを日本に普及させたという自負が、私のバックボーンになったことは確かです。

【佐野】

立野ガバナーはこれまでも大阪JC理事長など様々な公職に就き、ボランティアにも携わってられました。



【立野】

思い出深いのは「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」ですね。私にとって、ボランティアの原点。大阪JCの周年事業で「愛の手基金」というものを創設したのですが、さらに国際的な貢献につなげようという話になり、日本JCを介して国際婦人福祉協会という団体とセーブ・ザ・チルドレン基金を日本に作るようになったのが1986年。初代理事長になってすぐ、わずか200万円の資金でフィリピンのギマラスという町に学校を建てました。今思えば掘建小屋みたいなものでしたが、竣工式で子供たちの喜ぶ顔に大変感動しまして、活動にのめり込む大きなきっかけとなりました。結局18年もの間理事長を務めました、良い経験になりました。

【佐野】

現在は日本建築材料協会の会長としてもご活躍です。建材協会といえば全国規模のイベントとして建築材料・住宅設備総合展(建材展)を開いています。

【立野】

2013年に会長に就任し現在2期目に入りました。建材展はこれまで2年に1度の催しだったのですが、去年から「KENTEN」として毎年開催することにしました。今年はおかげさまで展示数も増えました。目指すところはあくまで高く、ミラノサローネ(註・世界最大規模のデザインの祭典)。いつの日か大阪に人を呼び込めるような世界的な展示会にしたい。そのためにも佐野さんが会長を務められている大阪府建築士事務所協会を始め、建築界の他団体とも積極的に交流し連携したいと思っています。

【佐野】

まさに「大阪サローネ」ですね。ラビンドランRI会長もロータリーのイメージを高めるためにブランディングの重要性を訴えています、建築界もロータリーも、イメージ戦略に積極的に取り組むべき時期に来ていると強く感じました。大阪からそのきっかけづくりができることを期待したいと思います。ありがとうございました。



意義ある業績賞について

(The Significant Achievement Award)

意義ある業績賞委員会 委員長 **泉 博朗** (大阪帝塚山RC)

委員 **高島 凱夫** (大阪中之島RC)

委員 **福家 宏** (八尾中央RC)

ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、RI会長から「意義ある業績賞」が授与されます。

「意義ある業績賞」の目的は、地域社会の問題やニーズに取り込んだクラブ活動を表彰することによって、新しいプロジェクトの実施をすべてのクラブに奨励し、模範的なクラブ活動の重要性に対する意義を高めることです。

本賞は1地区につき、1つのクラブだけが受賞対象となります。つまり地区レベルでの競争となります。応募のあったクラブからの申請を厳正に審査し、ただ一つのクラブを厳正に選び出すために、地区ガバナーが標題の地区委員会委員を設置し、これを地区内に発表することが奨励されています。

■選考基準

本賞の受賞資格を有するのは、1つのクラブにより実施された1件のプロジェクトのみです。またRIに推薦できるのは1地区につき1クラブのみです。既に本賞を受賞したことのあるプロジェクトには資格がありません。RI意義ある業績賞に推薦するプロジェクトを選出する前に、以下の選考基準を満たしているかどうかを確認する必要があります。

- ・地元地域社会の顕著な問題やニーズに取り組むものであること(如何に意義あるものであっても、国際奉仕プロジェクトは本賞の受賞資格はありません)
- ・資金援助のみではなく、クラブ会員の大半または全員が、直接活動に参加する
- ・クラブの規模と利用可能なリソースに釣り合ったものである
- ・地域社会においてロータリーのイメージ向上に役立つものであること
- ・他のRCが模倣できるものであること

- ・本賞が授与されるロータリー一年度に実施されたものである(ただし、現ロータリー一年度に開始されたものである必要はなく、現年度中に既に完了したものでよい)
- ・単一RCによって実施されたものであること。

■推奨推薦手続

以下は意義ある業績賞を選考するにあたっての推奨選考手続です。

- ・8月1日までに、本賞への応募の受理、および審査を行う地区選考委員会を地区ガバナーが選任し、告示する。地区ガバナーは、この委員会の職務上の委員となる。
- ・地区ガバナーは、その月信で選考基準(前項参照)とともに、この委員会に関する発表を行い、申請書を委員会委員長が受理する締切日を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手出来るようにする。
- ・地区選考委員会は、2月12日(金)までに会合を開き、5つのプロジェクトまでを候補プロジェクトとして選び、2月29日(月)までに届くように地区ガバナーに提出する。
- ・地区選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員会と協議の上、1つのプロジェクトを選定する。
- ・地区ガバナーは、推薦するプロジェクトを必要な書類と共に3月15日(火)までに国際ロータリーに提出する。
- ・提出締切日までに国際ロータリーが受理した推薦書式は、RI選考委員会で審査される。締切日を過ぎて受理された推薦書式は、審査の対象とはならない。

当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は2016年1月29日(金)とします。RIに提出後、正式決定されると認定状が送付されます。その後、例年通りガバナーが地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰いたします。

2015-2016年度 第1回クラブ広報委員長会議 報告

広報委員会
委員長

栗原 大

(大阪フレンドRC)

日時 平成27年8月1日 14:00～

会場 薬業年金会館 301号室

今年度、立野ガバナーの方針の一つにITの活用を掲げておられます。今回の会議ではITを中心としたプログラムで構成致しました。

まず立野Gからの開会あいさつ頂き、地区広報委員会からは委員長の栗原が「MY ROTARY」の登録推進、地区HP活用を説明させて頂きました。

第3ゾーンロータリー公共イメージ・コーディネーター補佐の高島PGからは公共イメージの向上についてお話し頂き、樋口代表幹事からロータリークラブ・セントラルについての活用、そしてロータリーの友についてロータリーの友地区代表委員の庄野様からお話し頂き前半は終了いたしました。

後半は「効果的な広報及びマスメディアについて」を題に社会福祉法人 産経新聞厚生文化事業団 専務理事 三宅統二様にご講演を頂き、この後、昨年度行われましたロータリーフェスティバルについて上場前

地区広報委員長より報告を頂きました。

そして最後は松本ガバナーエレクトより閉会の挨拶を頂戴して今回の会議を閉会致しました。

広報を通じて多くの人にロータリーを知ってもらえれば、活動へのサポートも増え、世界にもっと大きな変化をもたらせることになります。効果的な広報により、地域のニーズに取り組む信頼できる団体としてのロータリーの存在感が高まります。

そしてクラブのイメージが向上すれば積極的な活動への会員のモチベーションも高まり、入会希望者も増えることになるに違いありません。ブランニングを高め、会員増強へつなげる事も広報として大きな役割でもあります。

また地区のホームページを活用してクラブとクラブ、会員と会員のつながりにご利用ください。マイロータリーの登録や投稿の仕方など、皆様へアドバイス、お手伝いを地区広報委員会はさせて頂きます。

今後ともクラブ並びに会員様のご発展をお祈り申し上げて、会議の報告と致します。



ガバナー 立野純三様



ロータリーの友地区代表委員 庄野晋吉



社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団
専務理事 三宅統二





2015-2016年度 第1回地区献血活動 報告

ローターアクト委員会 委員長

丸尾 照二

(大阪御堂筋本町RC)

社会奉仕委員会 委員長

中山 正隆

(大阪リバーサイドRC)

7月12日(日)「第1回地区献血活動」を実施しました。例年、この時期にRACメンバーによって開催してきたのですが、去年から、地区のローターアクト委員会と社会奉仕委員会が協働で、ロータリーファミリーとしてローターアクトの献血活動を全面的に支えていくという体制に変わりました。

会場は「なんば駅バス停横」「京橋駅」「くずは駅」と、去年の「大阪駅」から「大日イオン前」に場所を変え、4会場で実施する事としました。当日は、気温30度を超える真夏日となりましたが、RACメンバーの「献血をお願いします」の若い大きな事に合わせて、地区の我々も「献血」の看板を掲げながら、あるいは、サービスティッシュを配りながら、お願いをしました。朝10時から夕方4時半まで、汗だくになりながらの1日でした。暑い中、立野ガバナー、泉バスターガバナーが、

わざわざ激励に、駆けつけて下さいました。

年2回の実施で500名以上の採血者をという目標を設定しての活動でしたが、結果は下記の通りとなりました。

受付人数 合計 300名

採血者 合計 245名

〔内訳〕

なんばバス停横	受付 69名	採血者 60名
京橋駅	受付 77名	採血者 63名
くずは駅	受付 76名	採血者 54名
大日イオン前	受付 78名	採血者 68名

最後になりましたが、今回の活動に、ご支援ご協力頂きました多くのロータリーファミリーの皆様に、心からの御礼を申し上げます。ありがとうございました。

ローターアクト
 地区副幹事(広報担当)

山内 美佐子

(大阪RAC)

去る7月12日(日)の10時から16時まで「第1回地区献血」を実施いたしました。

医療現場で需要が高まっている400mlの輸血量確保はもちろん、地区内RAC会員がRC・IAC会員の皆様と協力して一つの奉仕活動に取り組むことでロータリーファミリーの繋がりを強め、本年度地区ターゲット「結」を実現させる第一歩にすることを目的といたしました。

大阪中央RACがホストを務め、地区内全19RAC、約100名のRAC会員(卒業生含む)でイオン大日・難波駅・京橋駅・樟葉駅の4箇所に分かれて実施いたしました。日曜日にもかかわらず、立野ガバナー・泉直前ガバナーをはじめ23名ものRC会員の方々、IAC会員29名にもご協力いただきました。

「献血」と書いたパネルを掲げながら大きな声で呼

びかけると同時に、献血とRACについてより周知していただけるよう、概要を書いたポケットティッシュとうちわも配布いたしました。呼びかけだけでなく、多くのRC・RAC会員が実際に献血も行うなど、全員が積極的に活動に取り組むことができたと思います。

今回初の試みとして、活動中に写真をたくさん撮りリアルタイムで次々とFacebookに掲載し、RC・RACの広報活動にも努めました。一般の方々のお顔を写らないように、かつ活動内容がよく伝わる写真を撮るのはとても難しかったです。

最後になりましたが、たくさんの方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。

来年2月14日(日)に「第2回地区献血」を実施する予定ですので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



なんばバス停横



京橋駅



くずは駅



大日イオン前



なんば駅



大日イオン前

米山奨学委員会 学校等／地区委員会意見交換プログラム 報告

米山奨学委員会
委員

久保 幸一

(大阪難波RC)

日時 2015年7月15日(水) 14時～16時

場所 ガバナー事務所

参加者 地区米山奨学委員

参加校 大阪大学、大阪教育大学、大阪市立大学、立命館大学、大阪経済大学、大阪経済法科大学、大阪工業大学、大阪産業大学、大阪商業大学、大阪電気通信大学、追手門学院大学、関西大学、関西医科大学、関西外国語大学、近畿大学、相愛大学、梅花女子大学、摂南大学、大阪国際大学、東大阪大学、滋慶医療科学大学院大学、大阪日本語教育センター、大阪ハイテクノロジー専門学校、大阪コミュニケーションアート専門学校

2015年7月15日(水) 14時より地区米山委員会と大学・専門学校との意見交換会をガバナー事務所会議室にて開催。

当日は酷暑の中、大学20校、専門学校4校、総勢29名の担当の方に出席していただいた。

田中副委員長司会のもと、福田委員長が挨拶し、ロータリー米山記念奨学事業「豆辞典」を使い1952年から始まる歴史を紹介。またホームカミング制度(米山奨学生を卒業した方を米山学友と呼び、その学友が母国から日本へ戻り現在の活躍を報告する事を補助する制度)や台湾、韓国、中国、タイ、バンコク、ネパールに於いても学友会があり、活躍している学友たちの事、学友から178名がロータリアンになっており、学友を中心に発足したRCが有る事を伝えた。また台湾の学友が日本人の留学生にだけ奨学金をだすという恩返しをしている事も説明。奨学生卒業後も素晴らしいヒューマンネットワークが有ることを伝えた。多様性が有る方がより切磋琢磨できるという想いで、大学以外の教育機関にも地区奨励プログラムにて4名採用予定で有る事を説明した。

大学等からの推薦についての説明では、1カ国に偏らないことに配慮し、ロータリー活動に理解のある学生

の選考をお願いした。当地区は学力だけでは審査せず、面接を行い、グループディスカッションでの集団性、リーダーシップ、協調性等を見せてもらい、人柄で採用させていただく事を伝えた。「ハイライトよねやま184号」も用い、大地震に見舞われたネパールの為に募金活動に奔走した奨学生たちを紹介し、このような活動を理解し行動できる方を採用したいと伝えた。

また今年度の地区のテーマ「出逢えてよかった」について、委員長の気持ちとしては、それに「お互いに」を付け足し奨学生とロータリアンが互いに逢えて良かったと思える関係作りをしたいと熱い想いを伝えた。今回出席の大学関係者の中に当地区でお世話をした学友がおり、奨学生を卒業し母国と日本の架け橋として頑張っている方がここにもいる事を伝えた。その上で、米山奨学金制度はお金を渡すだけの支援ではなく、お金を貰うためだけの方の推薦は止めてくださいと説明した。

続いて大学等の担当者の方に事前をお願いしたアンケートの内容について、学内の募集・審査・面接・選考・ロータリーへの推薦に至る流れを各校に発表していただき、確認・質疑を行い、採用されるためのアドバイスを通じ、被推薦者の人物像を明確にしていった。

最後に古城副委員長が挨拶をし、指導教官の重要性を訴え、また我々が多様性を求めている事を改めて伝えた。

今回の意見交換会を踏まえ、来年も発展させながら、成果をお互い認識できる様にしたいと熱い想いを伝え、閉会した。



クラブ米山奨学委員長、会長エレクト、幹事、 カウンセラー研修会 報告

米山奨学委員会
副委員長

田中 隆弥

(池田くれはRC)

日 時 2015年7月18日(土) 14時~16時30分
会 場 大阪YMCA会館2階大ホール

2015-16年度 クラブ米山奨学委員長、会長エレクト、幹事、カウンセラー研修会を立野純三G、岩田宙造PG、岡部泰鑑PG、高島凱夫PG、福家宏PG、松本進也GE、片山勉GN、AG、研修委員、危機管理委員長及び各クラブの会長エレクト、幹事、米山奨学委員長、カウンセラー他、総勢約170名の参加のもと開催致しました。

立野Gのご挨拶に続き、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員の岩田PGにご挨拶を頂きました。次に岩津陽介危機管理委員長より青少年ボランティア誓約書について説明がありました。

地区米山奨学委員会福田治夫委員長の挨拶と報告では、まず前年度の当地区の寄付金額が前々年度に比べ増額となり、全国の地区の中で第3位であったことに対して感謝申し上げます。次にバズセッションの2つのテーマについての趣旨説明を致しました。特に世話クラブ複数化(世話クラブ、コ・世話クラブ)については、初めての試みであるため、必ずしも導入に向けてではなく、ヒント集のようなものを作成するための討論であることを強調しました。

30分間のバズセッションの後、10分間の休憩をいただき、約1時間に及ぶ発表コメント(抜粋)は以下の通りです。

【バズセッションテーマ】

★会長エレクト・幹事・委員長グループ

『世話クラブ、コ・世話クラブの導入について』

~全クラブが奨学生受入れに当たり

国籍・性別・学校をこだわらないようにするには?~

- ①奨学期間が2年間の場合、2つのクラブで1年ずつ世話をするのは良いと思う。
- ②奨学生を受入れると、米山奨学事業に対する意識が変わるので、世話クラブ、コ・世話クラブの導入により受入れるクラブが増えることは良いことだと思う。

- ③世話クラブが複数になると奨学生の負担が増えるように思われるので、世話クラブ複数化は反対である。
- ④世話クラブの責任の所在が曖昧になるので、世話クラブは複数にならない方が良い。
- ⑤国籍や性別にこだわることは、ロータリアンとしてふさわしくない。
- ⑥受入れたい国籍と受入れたくない国籍はある。過去に受入れた奨学生が反日運動をしていたので、現在でもその国籍の学生に対して違和感がある。

★カウンセラー・委員長グループ

『奨学生との接し方』

~奨学生の例会出席の奨励方策や

奨学生へ様々な配慮する事項~

- ①ほぼ毎回の例会に出席している。ロータリアンとのコミュニケーション能力も問題ない。
- ②英語しか話せないのので一部の会員しかコミュニケーションが取れない。
- ③食事等で宗教的な問題が出てきているので配慮している。
- ④本人の努力は認めるが、論文作成時期になると多忙となる学生が多い。

質疑応答の後、地区米山奨学部門顧問の高島PGより講評を頂き、本日の研修会を無事終えることができました。国際人材育成事業とも考えられる米山奨学制度の充実のため、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。





コーディネーターニュース ロータリー広報実績の集積について

第3ゾーン

ロータリー公共イメージコーディネーター

岩永 信昭

(長崎北東RC)

ラビンドランRI会長は戦略計画3つの優先項目のひとつ「公共イメージと認知度の向上」に関して、各地区、クラブに以下の目標を掲げておられます。

1. 地元メディアによる報道の推進
2. ボイスとビジュアルアイデンティティの導入促進
3. デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

それぞれについてクラブレベル、地区レベルで取り組むべき具体的な活動指標は1～3の通りです。(目標2に対するガイドはRIホームページから入手できる図4に示すものです)

まずは目標1から取り組んで下さい。ロータリーが

地域社会で行っている事をしっかりと伝える必要があるのです。我々は今までともすればその点には無頓着であり、またそうする事がロータリーらしさと考えていたぐらいがあったのではないのでしょうか。

さらにこれらの広報実績をジャパンデータとして集積すべく図5のシステム構築を計画中です。

今後 渡辺敏彦Zone 1 RPIC、高野孫左エ門Zone 2 RPICと協働し、できるだけ早くしっかりとシステムを作り上げお示したいと考えています。現時点では上記の目標1に関する実績を地区で集積しておいて下さい。

皆様のご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願いします。

公共イメージ向上に関し クラブ、地区で取り組んで頂きたい事

1. 地元メディアによる報道の推進

- ・ 奉仕プロジェクト
- ・ 地元クラブによる恩恵を受けた人々や団体の紹介(学友を含む)
- ・ 地元での行事/募金活動(ロータリーデーなど)
- ・ ポリオ撲滅または6つの重点分野
- ・ 交流/ネットワークづくりの機会

【クラブレベル】 メディア担当者を特定し報道を推進する

【地区レベル】 各クラブでの報道を取りまとめ四半期毎、RI本部担署へ報告
各クラブの担当者の人的ネットワークを築きメディア報道に関する研修を開催

2. ボイスとビジュアルアイデンティティの導入促進

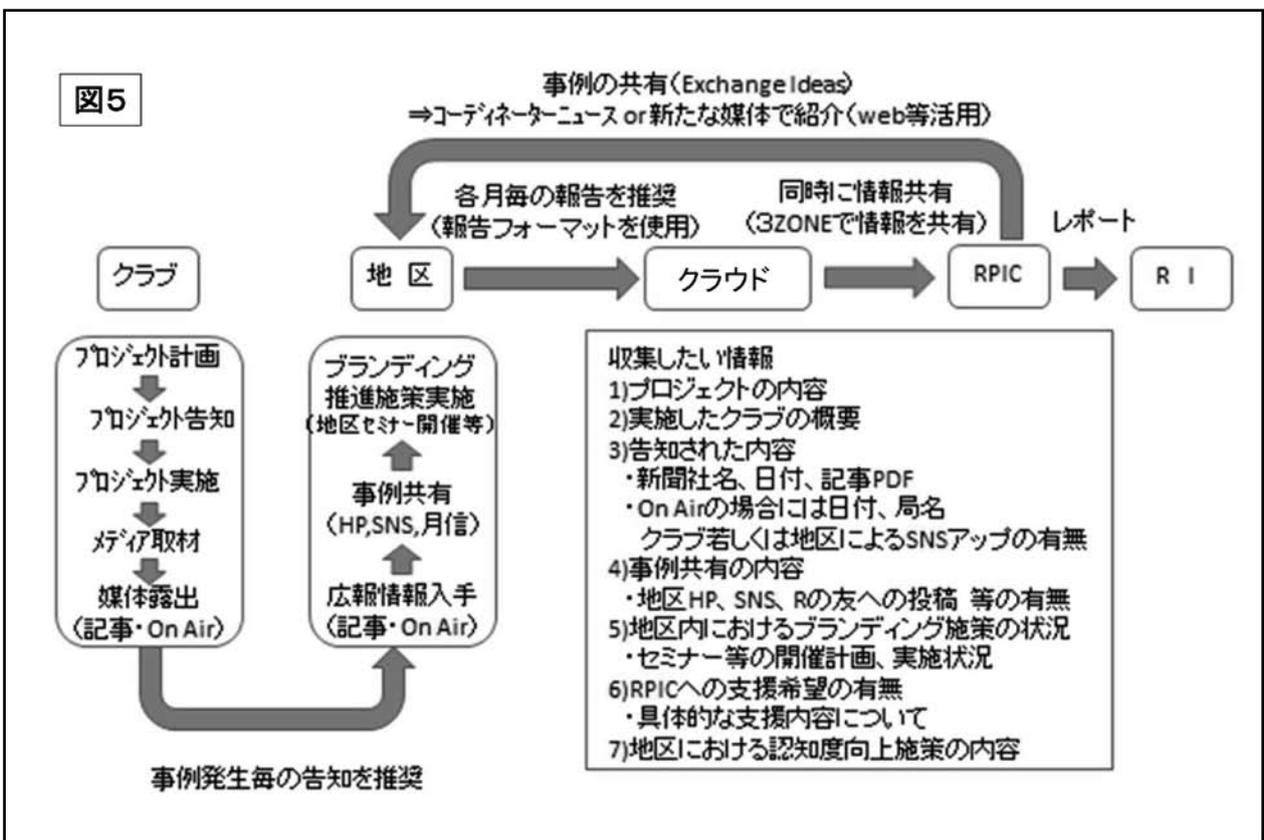
【クラブレベル】 ボイスとビジュアルアイデンティティのガイドをクラブのウェブサイトやソーシャルメディア、出版物に活用する

【地区レベル】 各クラブでの上記活用状況を四半期毎、RI本部担署へ報告
各クラブのこの分野における推進者を招集し研修会を開催

3. デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

【クラブレベル】 クラブでの奉仕活動をSNS(フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど)を活用し、随時発信していく

【地区レベル】 各クラブでの上記発信状況を取りまとめ、四半期毎RI本部担署へ報告





ビジュアルアイデンティティのクイックガイド

概要

このクイックガイドには、視覚的システムの基本的要素（ロゴ、カラーパレット、フォント、アイコン、写真のスタイルなど）がまとめられています。これらの要素は互いに調和するようにデザインされ、一定の枠組み内で柔軟に使用できます。これらの要素を組み合わせることで、積極的なリーダーシップ、粘り強さ、思いやりといったロータリーの特徴を視覚的に訴えることができます。このクイックガイドは、www.rotary.orgからダウンロードできる詳細なガイドライン資料と合わせてご利用ください。

媒体別ロゴのフォーマット

印刷	.eps	spotまたはcmyk
刺繍	.eps	spotまたはcmyk
シルクスクリーン	.eps	spotまたはcmyk
ワード文書（印刷）	.png	rgb
パワーポイント	.png	rgb
デジタル ウェブサイト タブレット／携帯	.png	rgb

ロゴ

ロゴ

誇りのシンボル

Rotary



RotaryMBS-R_PMS-C.eps



RotaryMOE-R_PMS-C.eps

Rotary



RotaryMBS-R_Rev-Gold-PMS-C.eps



RotaryMOE-R_Rev.eps

Rotary



RotaryMBS-R_Rev.eps



RotaryMOE-R_Azure-PMS-C.eps

Rotary



RotaryMBS-R_Azure-PMS-C.eps

Rotary



RotaryMBS-R_Black.eps



RotaryMOE-R_Black.eps



会員ピン

世界中のロータリアンが共通して身につける襟ピンは、これまででデザインの変更はありません。

色

アズール

PMS 2175C
C99 M47 Y0 K0
PMS 2175U
C99 M53 Y0 K0
Hex #005daa
RO G93 B170

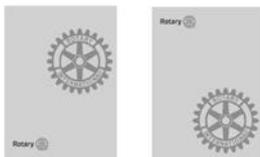
ロイヤルブルー

PMS 286C
C100 M80 Y9 K2
PMS 286U
C100 M92 Y9 K2
Hex #17458f
R23 G69 B143

ゴールド

PMS 130C
CO M41 Y100 K0
PMS 129U
CO M35 Y100 K0
Hex #f7a81b
R247 G168 B27

ロゴの使用例：1ページ資料の場合



複数ページの場合：表紙／背表紙、表ページ／裏ページ



クラブ名、地区番号、ゾーン番号、プロジェクト名入りのロゴ



第1239地区



第24・32ゾーン



○○○○ロータリークラブ

Rotary

○○○○ロータリークラブ

Day of Service

タイポグラフィ

和文ライセンスフォント

ライセンスの購入が必要なフォント

ゴシック系

中ゴシックBBB／太ゴB101／見出MB31

明朝系

リュウミンL／太ミンA101／見出ミンMA31

細い書体は本文、キャプションなどに、太い書体は、タイトル、大見出し、中見出しなどに使う。その他、二次的ナビゲーションやインフォグラフィック、ロータリーのロゴと組み合わせたり、識別子として使用したりする場合に、強調の度合いに応じて太さを選ぶ。

OS標準搭載の和文フォント

上記のフォントのライセンスがなく、購入のコストに問題がある場合

MACゴシック系

ヒラギノ角ゴシックW3／ヒラギノ角ゴシックW6／ヒラギノ角ゴシックW8

MAC明朝系

ヒラギノ明朝W3／ヒラギノ明朝W6

PC

HGゴシック／HG明朝E

上記2書体がない場合は、

MSゴシック／MS明朝

ウェブサイト用フォント

メイリオレギュラー／メイリオボールド

欧文ライセンスフォント

ライセンスの購入が必要なフォント

第一基本フォント

FRUTIGER CONDENSED BLACK
FRUTIGER CONDENSED BOLD
Frutiger Condensed

大タイトルは太い書体を用いすべて大文字で表現。サブタイトルや見出し等は、必要性と強調の度合いに応じて太さ、大きさ、大文字と小文字の組み合わせを選ぶ。その他、二次的ナビゲーションやインフォグラフィック、ロータリーのロゴと組み合わせたり、識別子としても使用できる。

第二基本フォント

Sentinel Book
Sentinel bold
Sentinel black

本文、中見出しや小見出し、キャプションや識別子として使用。

欧文無料フォント

上記の2フォントが使えない場合
または購入コストの問題がある場合

第一基本フォント

OPEN SANS CONDENSED
ARIAL NARROW BOLD
Arial Narrow Regular

第二基本フォント

Georgia Regular
Georgia Bold

写真による表現

地域社会のために行動する
ロータリアンの姿



ひとつとなって活動する
ロータリアンの姿



象徴的





ロータリーの友便り

ロータリーの友
地区代表委員

庄野 晋吉

(大阪RC)

9月は「ロータリーの友月間」です。

各クラブに於かれましては、広報委員長の卓話を通じて、「友」の存在を位置づけて頂きます。「友」の存在意義、歴史や変遷、そして「友」への投稿規定などを報告して、「友」の認識を深めて頂いて、活性化を図る月間にして頂きます。

「心は共に」「ロータリー・アット・ワーク」「卓話の泉」「わがまち・そしてロータリー」「友愛の広場」「バナー自慢」や「例会食事エピソード」そして「俳壇・歌壇・柳壇」も投稿をお待ちしています。

<8月号のお薦め記事>

【3ページ】

RI会長メッセージ

「最高でなければ良いとは言えない」

この記事はロータリーの根幹であります「職業奉仕」の基本である「品質」は最高であるべきであるとの会長の信念を、世界中の子供たちが楽しんでいる「レゴ」を開発したクリスチャンセン氏の実話を例にして、我々ロータリアンが取るべき全ての活動の基準を差し示しておられます。

われわれが行うすべての仕事、行動を通じて「世界へのプレゼント」になるために、最善を尽くしてほしいとの願いが込められています。

【24ページ】

ロータリーデー

我々2660地区の「共にロータリーを楽しむ」

ロータリーの第一基本色であるスカイブルーのポロシャツを全員が着て快晴の御堂筋から土佐堀通りを82クラブが参加して、インターアクトの皆さんを先頭に大行進です。

テーマは「Light up Osaka・考えよう子供たちの

未来を」と題して、「危険ドラッグ撲滅」の大弾幕や旗を掲げ、全員が風船を手にして行進しました。

行進の後、市公会堂で盛り沢山のイベントを開催し、楽しさも学びもある行事で、大いに盛り上がりました。

地区を挙げての大イベントに取り組んだのは我が地区だけだったのでは、と誇らしい一日でしたが、明察と行動力で有名な「ロータリーの友」の編集長・二神典子氏御本人が、乗り込まれての、取材報告です。

【81ページ】

IM講演要旨

「出会い、感動、夢への挑戦」(2710地区 1組)

下関市の波佐間教育長が新しい教育のあり方を深く考えられて「心を育む」ことであり「学校と地域を絆でつなぐ」ことであると述べられた講演です。

多くの例を引き合いにされて、人間の生き方を学ぶ「人間学」を学ぶことを勧めておられます。波佐間氏の主張は、我々ロータリアンの親睦行動そのものであり、出前授業などの参考にもしたい講演です。

末尾の結論が「自分の天職、使命をいかに果たしていくのか、われわれの大きな仕事です。このことを、まず、自分自身に問いかけてみてはいかがでしょう?」と仰っています。

これは、ポールハリスの言葉と全く同じなのです。

<ロータリーの友からのお願い>

2015-16年度「友」誌表紙写真12~3月号と5月号の表紙写真を再募集します。

* 締切…2015年10月10日

* 点数…一人3点まで

* サイズ…紙焼き四つ切り

* 応募先…「友」事務所へ郵送。又は、各クラブ事務局を経由して、「友」事務所へ



2015年7月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	7月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	
			全員	女性							
I M 第1組	池田	35	35	2	0	0	0	4	75.00	68.94	
	池田くれは	38	34	3	0	4	-4	3	79.74	76.51	
	箕面	27	27	4	0	0	0	4	85.40	80.35	
	箕面千里中央	24	23	0	0	1	-1	5	94.70	89.50	
	豊中	42	42	3	0	0	0	4	85.64	73.45	
	豊中南	22	22	1	0	0	0	5	80.88	76.97	
	豊中千里	36	36	3	0	0	0	4	90.79	82.03	
	小計	224	219	16	0	5	-5		84.59	78.25	
	I M 第2組	茨木	28	28	3	0	0	0	4	95.38	85.70
		茨木東	38	41	4	3	0	3	5	72.51	66.19
茨木西		26	27	6	1	0	1	4	92.59	83.27	
千里		32	33	0	1	0	1	4	85.61	80.34	
千里メイプル		22	22	3	0	0	0	4	83.13	78.31	
摂津		33	35	1	2	0	2	4	85.28	79.05	
吹田		62	63	11	1	0	1	4	97.42	90.80	
吹田江坂		32	32	2	0	0	0	4	99.14	88.22	
吹田西		46	47	2	1	0	1	3	100.00	92.13	
高槻		49	51	6	2	0	2	4	98.00	87.91	
高槻東	36	36	2	0	0	0	3	97.06	93.10		
高槻西	20	20	0	0	0	0	4	97.50	82.50		
小計	424	435	40	11	0	11		91.97	83.96		
I M 第3組	大東	40	41	0	1	0	1	4	98.59	95.81	
	大東中央	27	27	11	0	0	0	4	83.52	76.17	
	枚方	44	47	1	3	0	3	4	95.96	86.14	
	門真	27	29	4	2	0	2	5	91.01	77.22	
	交野	34	34	2	1	1	0	5	86.86	82.65	
	香里園	16	16	1	0	0	0	4	96.77	86.87	
	くずは	47	47	0	0	0	0	4	80.89	76.71	
	守口	39	39	3	0	0	0	4	81.58	76.26	
	守口イブニング	25	26	4	1	0	1	4	81.58	74.04	
	寝屋川	42	42	4	0	0	0	4	90.90	86.04	
四條畷	5	5	0	0	0	0	5	100.00	100.00		
小計	346	353	30	8	1	7		89.79	83.45		
I M 第4組	東大阪	74	73	0	0	1	-1	4	95.72	85.37	
	東大阪中央	24	24	0	0	0	0	3	92.22	89.11	
	東大阪東	60	61	5	1	0	1	4	87.09	73.88	
	東大阪みどり	24	24	0	1	1	0	4	77.78	67.68	
	東大阪西	29	29	0	0	0	0	3	96.18	85.89	
	大阪柏原	30	30	2	0	0	0	3	92.85	89.36	
	大阪ネクスト	19	19	8	0	0	0	4	80.00	75.00	
	八尾	54	54	0	0	0	0	5	86.26	83.74	
	八尾中央	16	17	0	1	0	1	4	80.51	80.51	
	八尾東	27	27	1	0	0	0	4	74.99	67.23	
小計	357	358	16	3	2	1		86.36	79.78		

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	7月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	48	51	7	3	0	3	5	90.09	81.94
	大阪堂島	26	26	2	0	0	0	3	85.33	78.20
	大阪北	186	187	0	2	1	1	5	76.97	67.03
	大阪北梅田	59	59	5	0	0	0	3	72.22	68.89
	大阪西	86	88	0	2	0	2	3	85.11	79.29
	大阪大淀	35	36	0	1	0	1	5	92.64	85.28
	大阪リバーサイド	30	30	6	0	0	0	5	93.69	81.17
	大阪西北	47	48	0	1	0	1	3	94.39	85.17
	大阪そねざき	42	42	24	0	0	0	5	95.07	83.25
	大阪梅田	28	28	2	0	0	0	4	89.42	80.77
大阪梅田東	35	35	0	0	0	0	5	87.04	72.35	
大阪ユニバーサルシティ	34	34	5	0	0	0	4	82.58	73.48	
小計	656	664	51	9	1	8		87.05	78.07	
I M 第6組	大阪	261	270	3	10	1	9	5	74.36	58.16
	大阪東	124	124	0	0	0	0	5	89.66	75.87
	大阪東淀ちゃやまち	29	29	3	0	0	0	3	81.67	78.33
	大阪城東	41	41	4	0	0	0	5	83.22	78.87
	大阪中之島	31	31	1	0	0	0	5	96.66	85.99
	大阪大手前	37	37	6	0	0	0	5	92.74	87.67
	大阪城北	51	51	3	0	0	0	5	83.40	74.55
	大阪天満橋	58	58	0	0	0	0	4	91.60	87.67
	大阪鶴見	31	32	3	1	0	1	4	78.60	76.04
	大阪淀川	27	27	3	0	0	0	5	91.20	76.16
新大阪	31	32	0	1	0	1	4	91.05	86.77	
小計	721	732	26	12	1	11		86.74	78.73	
I M 第7組	大阪フレンド	28	28	3	0	0	0	5	82.22	66.67
	大阪御堂筋本町	55	55	2	0	0	0	5	89.56	79.80
	大阪南	159	160	0	1	0	1	4	85.91	73.44
	大阪難波	52	52	0	0	0	0	5	92.06	85.00
	大阪なにわ	29	29	5	0	0	0	5	91.03	86.20
	大阪西南	97	97	24	0	0	0	5	94.98	75.05
	大阪船場	38	38	2	0	0	0	3	99.00	86.00
	大阪心斎橋	36	37	0	1	0	1	5	97.27	91.23
	大阪うつぼ	34	36	4	2	0	2	4	89.44	78.26
	小計	528	532	40	4	0	4		91.27	80.18
I M 第8組	大阪平野	36	36	2	0	0	0	4	97.08	88.42
	大阪イブニング	13	13	2	0	0	0	5	86.15	69.23
	大阪城南	48	48	0	0	0	0	3	100.00	98.39
	大阪咲洲	16	16	1	0	0	0	5	82.50	71.25
	大阪天王寺	57	57	0	0	0	0	4	83.64	74.99
	大阪帝塚山	47	47	4	0	0	0	4	90.12	84.77
	大阪東南	33	33	0	0	0	0	4	90.91	75.76
	大阪アーバン	32	31	7	0	1	-1	4	85.83	83.33
	大阪みおつくし	24	24	16	0	0	0	4	54.17	54.17
	小計	306	305	32	0	1	-1		85.60	77.81

合計	クラブ名	7月期初 会員数	7月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率



敬弔／お知らせ

敬弔 — 謹んでご冥福をお祈り申し上げます —

松本 道廣 会員 (交野RC)

2015年7月25日逝去 (享年75歳)

会長、副会長、幹事、理事

米山功労者 (マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ガバナー補佐交代のお知らせ

○IM第1組 西宮 富夫 (箕面RC)

お詫びと訂正 7月号に下記の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

○茨木西RC 事務局TEL番号 TEL (072) 623-2668

お知らせ

○八尾東RC 〈ビジターフィ変更〉

3,000円→2,500円

○箕面千里中央RC 〈ホームページアドレス変更〉

新アドレス <http://msc-rc.com/>

<p>建築金物金属製品製造・販売 株式会社 ユニオン</p> <p>代表取締役社長 立野 純三 (大阪RC) 2015-16 R I 2660地区ガバナー</p> <p>〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22 TEL (06)6532-3188 URL http://www.artunion.co.jp/</p>	<p>大阪市旭区ブランド認定ソース 株式会社 金紋ソース本舗</p> <p>代表取締役 村田 有司 (守口RC)</p> <p>〒535-0001 大阪市旭区太子橋3-1-4 1 TEL (06)6952-0137 FAX (06)6951-7839 URL www.kinmon-sauce.com <input type="checkbox"/> ymurata@osaka.email.ne.jp</p>
<p>医薬品販売 ヒグチ産業株式会社</p> <p>代表取締役社長 樋口 信治 (大阪RC) 2015-16 地区代表幹事</p> <p>〒578-0977 東大阪市鴻池徳庵町1-6 TEL (06)6745-6601</p>	<p>調剤薬局と介護の融合を みとうメディカル株式会社</p> <p>代表取締役 倉岡 多 (大阪平野RC) 2015-16 会長</p> <p>〒558-0004 大阪市住吉区长居東4-6-8 TEL (06)6607-0404 URL http://mitouph.com/ <input type="checkbox"/> zimu@mitouph.com</p>
<p>商売繁盛・福德円満 今宮戎神社</p> <p>宮司 津江 明宏 (大阪RC) 2015-16 地区代表副幹事</p> <p>〒556-0003 大阪市浪速区恵美須西1-6-10 TEL (06)6643-0150 URL http://www.imamiya-ebisu.jp/ <input type="checkbox"/> tsue@pearl.ocn.ne.jp</p>	<p>胃腸内科・肛門外科・内視鏡内科 医療法人 こじまクリニック</p> <p>理事長・院長 小島 治 (池田RC) 2015-16 会長</p> <p>〒563-0055 大阪府池田市菅原町1-1 池田中央公民館1階 TEL (072)751-3385 FAX (072)754-1371 URL kojima-clinic.net <input type="checkbox"/> osamu-kojima@mrg.biglobe.ne.jp</p>
<p>総合フードサービス 給食事業 株式会社 魚国総本社</p> <p>代表取締役社長 田所 伸浩 (大阪RC) 2015-16 地区幹事</p> <p>〒555-0011 大阪市西淀川区竹島4-1-28 TEL (06)6478-5721 URL http://www.uokuni-s.co.jp/</p>	<p>プラント設備の設計・据付・メンテナンス 関電プラント株式会社</p> <p>代表取締役社長 藤井 眞澄 (大阪南RC) 2015-16 会長</p> <p>〒531-8502 大阪市北区本庄東2-9-18 TEL (06)6372-1151 FAX (06)6359-7676 URL http://www.kanden-plant.co.jp <input type="checkbox"/> fujii-m@kanden-plant.co.jp</p>
<p>グローバルに複合展開する商社 稲畑産業株式会社</p> <p>取締役社長 稲畑 勝太郎 (大阪RC) 2015-16 地区研修・協議会実行委員長</p> <p>〒542-8558 大阪市中央区南船場1-15-14 TEL (06)6267-6002 URL http://www.inabata.co.jp/index.html</p>	<p>消防設備の施工と点検 第一防災株式会社</p> <p>取締役会長 辻村 弘 (守口RC) 2004-05 副会長</p> <p>〒570-0016 守口市大日東町12-5 TEL (06)6902-2372 http://daiichi-bousai.co.jp/index.html <input type="checkbox"/> info@daiichi-bousai.co.jp</p>



Be a gift to the world

月信編集委員会からのお願い

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX またはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 立野 純三 (大阪RC)
- 地区代表幹事 樋口 信治 (大阪RC)
- 地区副代表幹事 津江 明宏 (大阪RC)
- 担当地区幹事 佐野 吉彦 (大阪RC)
- 担当地区幹事 井戸 剛 (大阪RC)
- 事務局員 加茂 春日

2015-2016年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	立野 純三
地区代表幹事	樋口 信治
地区副代表幹事	津江 明宏
事務局長	栗正 久美
事務局員	井上 望美
	加茂 春日
	船橋 美紗子
	杉本 亜鶴巳

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

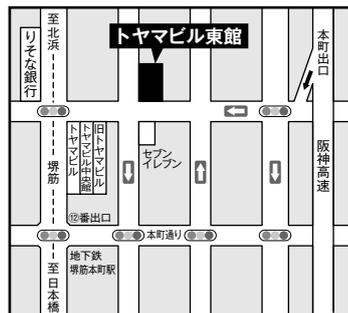
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
年末年始
2015年12月29日(火)~
2016年1月4日(月)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

Rotary



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp